

Vol.1
2025.3



市民福祉部
高齢福祉課

病気にならないための予防に関わりたい

Q1.市職員を志した理由を教えてください

祖父と闘病

学生時代まで祖父母と生活をしていました。高校3年生の時に祖父ががんになり、闘病生活を目の当たりにし、その中で、医療や病気の予防に興味を持ち始めました。

学生時代の保健師実習で、実際に行政の保健師の仕事について知り、地域の人と関わる中で、地域の人の健康を支え、予防や健康増進の取り組みを推進する「保健師」の仕事に魅力を感じました。

大学卒業後は岐阜県内の病院内にある健診センターに就職しましたが、健診後の保健指導や病院と行政の連携などを学ぶ中で、病を患ってから治療をするのではなく、そもそも病気にならないための予防に関わりたいという思いが強くなりました。そして病院よりも関わる対象者数が多いことと、学生時代に美濃加茂市でアルバイトをしていた経験と縁から、美濃加茂市役所への転職を決めました。保健指導や予防教室をとおして、変化が見えることが、保健師としてやりがいに感じます。

Q2.経験した職務・職務で大切にしている事や工夫は？

健康を考えるということ

入庁後、最初は健康課成人保健係に配属され、主に特定健診や病気の予防の担当を

しました。ここでは、どうしたら健診の受診率が上がるかを関係職員で話し合ったり、市民の減塩のために一日の塩分摂取量がわかる検査を導入しました。受診率が上昇した事実を知ったり、「自分の塩分摂取量が分かったから食生活の見直しをした」という声を聞いたりすると、私の思いが伝わって、一人でも多くの方が自分の健康について考え、行動に移してくれたことがわかり、保健師として嬉しく思います。

現在は高齢福祉課に配属され、介護予防教室の企画運営や市内で介護予防に取り組んでいる自主サークルグループへの支援を担当しています。地域の人と一緒に介護予防に取り組む中で、高齢に伴う認知症の対応についての課題があることがわかり、関係者で協議を行いました。

このように、参加者の反応や声を実際に体感することで、地域の課題や個別に抱える課題を把握し、今後はどのような対策が必要かを考える日々を過ごしています。

Q3.今後の展望を聞かせてください

すべての世代の健康

保健師の分野は幅広く、乳幼児期から高齢者までが対象です。また、精神保健や感染症対策など、多様な健康課題に対応するために柔軟な対応力を身に付け、誰にでも寄り添える保健師を目指したいです。

平日(ON)と休日(OFF)のスケジュール

ON

- 8 出勤
- 9 メールチェック
- 10 打ち合わせ
- 11
- 12 昼休み(昼食)
- 13 介護予防教室の開催
- 14
- 15
- 16 報告書の作成
- 17 退勤
- 18 帰宅
- 19 夕食の準備
- 20



OFF

- 8 起床
- 9 自宅近くの喫茶店で朝食
- 10
- 11 家の掃除
- 12
- 13 野球観戦
- 14
- 15
- 16
- 17 帰宅
- 18 夕食
- 19
- 20



#私の休日



いつか憧れの選手に会いに行きたい

趣味は旅行で、休日は家族や友人と野球やサッカー、ラグビーの観戦へ現地まで応援に行ったり、美味しいご飯を食べたりすることが楽しみです。

社会人になってから、年に1回は海外旅行へ出かけています。いつか、メジャーリーガーの大谷翔平選手が出場する試合を見るのが夢です。

Vol.2
2025.3

健康こども部
こども未来課



自然豊かな環境で伸び伸び育ってほしい

Q1.市職員を志した理由を教えてください

憧れの人に近づきたい

母が保育士であり、子どもの頃から保育士という職業に憧れていました。それに加え、当時お世話になった保育園の担任の先生と一緒に働きたいという夢もあり、美濃加茂市の保育園で働く道を目指しました。無事に願いが叶い、憧れの先生とともに同じ園で働くことができたときは、本当に嬉しかったです。

実は私は、一度市役所を退職して専門学校に進学をしています。それは、大学時代に知った「森のようちえん」や自然保育について、詳しく学びたかったからです。

岐阜県立森林文化アカデミーに入学し、自然環境の知識や野外技術などの「森林環境教育」を学んで卒業を間近に控えたとき、私の中にあったのは、「この知識や経験を活かし、再び美濃加茂市の子どもたちと関わりたい」という強い思いでした。

Q2.経験した職務・職務で大切にしている事や工夫は？

十人十色な園の特色

事務を担当する職員と同じく、保育士も一般的に3～4年ごとに異動があり、私はこれまで3回ほど異動を経験しています。よく「保育士という専門職なら、どの園でも同じ仕事なのでは？」と思われがちです

が、各園それぞれ特色があるうえ、担当するクラスも毎年変わり、子どもたち一人一人の性格も異なるので、同じようでも、全く違うのが保育士の仕事です。

現在は、山之上こども園で働いています。園舎の裏山が整備されており、裏山を使って自然の中で保育を行っているのが特色で、専門学校で学んだことを活かして、自然の中での遊びの環境を作っています。

日々変化する自然と同様に、子どもたちも日々変化しています。笑ったり、泣いたり、怒ったり…。昨日はできなかったことが今日できるようになったり…。そんな子どもたちの小さな変化を逃さず寄り添い、「今ここ」の時間をともに感じていくことを大切にしています。

Q3.今後の展望を聞かせてください

記憶に残る思い出になってほしい

幼少期の「泥んこの水溜まりに浸る」「焚火で焼き芋を作って食べる」などの原体験（五感を使った直接体験）は、大人になっても心に残っていることが多くあると思います。こうした経験を幼児期にたくさん積み重ね、心に残るような保育ができたらと思っています。今、一緒に過ごしている子どもたちが大人になった時に「保育園の頃って楽しかったなあ」と思い返してもらえたら嬉しいです。

平日と休日のスケジュール

ON	OFF
8 出勤・準備・園児登園	8 朝食
9	9 田んぼでの作業
10 園の裏山で里山あそび(保育)	10
11 裏山で園児たちと昼食	11
12	12 昼食
13 園の裏山で里山あそび(保育)	13
14 園児たちのおやつ時間	14 自家製醤油の天地返し作業
15 園庭で外遊び・園児降園	15
16 ミーティング	16 ニホンミツバチのお世話
17 退勤	17
18 帰宅	18 友人宅でBBQ
19 夕食	19
20	20

#私の休日



自然と丁寧に向き合う暮らし

専門学校時代に出会った仲間と自然農でお米や大豆を育てたり、味噌や醤油を作ったり、ニホンミツバチを飼育したりして過ごしています。

理想は「丁寧な暮らし」ですが、実際は時間と手間のかかることばかり。それでも、自分の手で暮らしを創っていく感覚がとても楽しいです。

Vol.3
2025.3



市民協働部
ひとづくり課

その先にいる誰かのために何ができるか

Q1.市職員を志した理由を教えてください

技師として自分に何ができるか

高校生の時から、生まれ育った美濃加茂市で働きたいという思いを持っていました。そして、建築という分野に興味があったので、大学は建築学科に進み、そこで学んだことが活かせる「建築技師」として美濃加茂市役所で働くことを目指しました。

Q2.経験した職務・職務で大切にしている事や工夫は？

技師の目線から

昨年度までは施設経営課に所属し、保育園や消防団車庫の新築、文化会館や小中学校の改修など、技師としてさまざまな公共施設の設計や工事監理を担当してきました。多くの人が利用される施設ですので、安全で魅力ある施設にしたいという思いを持ちながら業務をしました。時には悩むこともありましたが、自分の思いが建物という形になることが嬉しく、達成感を感じました。

また、同じ技師の職員や地域の事業者の方たちとの関わりから学ぶことも多く、とても楽しい仕事だと思っています。

現在はひとづくり課に所属し、主に若者事業を担当しています。設計や工事などの業務ではありませんが、地域の中学生から大学生を対象に、居場所づくりやグループ活動などを行っています。

地域の若者の興味や関心があることを深掘しながら、「楽しい」「次はこんなことをしてみたい」という思いを持ってもらえるような活動を進めています。活動中の彼女らの楽しい表情や姿に出会えることがとても楽しいです。

これまでの業務は建築技師としてハード面から携わってきましたが、市役所の様々な部署の職員や地域の人の力を借りながら、若者たちと共にまちづくりに関われることも楽しみの一つです。

この地域に少しでも思いを残してもらえよう、同じ目線で共に考えながら伴走していくことを心掛けています。

Q3.今後の展望を聞かせてください

「ありがとう」が何よりの原動力

一般企業と比べて異動の多い市役所業務ですが、どの部署でも「誰かのために働く」という考えは同じだと思っています。その結果、「ありがとう」といった言葉をいただく度に嬉しく思い、更に尽力したいという気持ちになります。

美濃加茂市役所は、職員が協働して進めていく業務が多く、さまざまな分野に挑戦できる職場です。その先にいる誰かのために真摯に取り組む職員の姿が多く、私はそんな職員とのつながりを大切にしていきたいと思います。

平日と休日のスケジュール

ON	OFF
8 出勤	8 朝食
9 事務作業	9
10	10 買い物 
11 イベントチラシの配布	11
12 昼休み(昼食) 	12 昼食
13	13 野球観戦
14	14
15 打ち合わせ	15
16 イベントの準備	16 
17	17 帰宅
18 大学生との打ち合わせ・退勤	18 夕食
19 帰宅	19
20 夕食	20

#私の休日



野球を丸ごと楽しむ1日

プロ野球が好きで、全国のさまざまな球場に観戦に行きます。球場の雰囲気や、そこにしかないご飯やスイーツを食べることも楽しみの一つです。

地元のプロ野球球団のファンなので、休日は名古屋市にある球場へ、友人や職場の同僚とよく足を運んでいます。

Vol.4
2025.3

市民福祉部
福祉課



広い視野を持って自分の力を役立てたい

Q1.市職員を志した理由を教えてください

大学で学んだことを活かしたい

私は小学校から高校まで美濃加茂市の学校に通っていて、大学も岐阜県内だったので、幼少期からずっと美濃加茂市に住んでいました。

大学の授業で、地域の課題解決に向けたプログラムがあり、その中で地域の課題がどういったものであるか、それを解決するにはどうすればいいかを学んでいました。授業を履修する中で、自分の地元である美濃加茂市に対し、何か貢献したいと思いが出てきて、市役所での仕事を志しました。

Q2.経験した職務・職務で大切にしている事や工夫は？

その人に必要な情報をつなぐ仕事

入庁した当初は環境課に配属され、ごみの捨て方など生活に直結する業務や、講座の開催といった企画の業務を行っていました。ここでは執務室の外で作業を行うことが多く、自分の住んでいる地区以外についても知ることが出来ました。

その後は福祉課に配属され、障がいのある人への医療費助成や各種サービスを担当してきました。今年度で6年目になりますが、配属された当初は、相談の受け方などで戸惑うこともありましたが、しかし、係で相談したり、社会福祉士さんなど関係機関

の皆さんにさまざまなことを教えていただいたりして、日々成長を実感しています。

福祉の制度は数も多く、自分たちは慣れていても、初めての人には制度が分かりにくい場合があるので、出来るだけ簡潔にするなど、伝え方を工夫しています。

また、市役所が直接携わらない業務などについても、質問や相談を受けることがあります。例えば車椅子のレンタルは、介護保険制度以外にも社会福祉協議会さんが一時的な貸し出し業務を行っています。そういった情報をあらかじめ把握しておくことで、市役所に相談した人が必要な情報にたどりつけるようにしています。

福祉の制度は法改正が定期的であり、複雑なものもありますが、自分の担当業務については、庁内で自分が1番詳しいといわれるように取り組んでいます。

Q3.今後の展望を聞かせてください

関係者同士が手と手を取り合って

今までも、美濃加茂市役所内外の職員と協力して業務に当たってきました。それはどの部署に行っても変わらないと思います。

これからもお互いに頼り、頼られるような関係を築きながら、美濃加茂市に住んでいてよかったと思っていただけるよう、市民の皆さんのための業務にあたっていきたいです。

平日と休日のスケジュール

ON	OFF
8 出勤・メールチェック	8 起床 
9 事務作業	10 カフェでモーニング
10 打ち合わせ	11 図書館で読書
11 昼休み(昼食)	12 買い物 
12 事業所への連絡	13 夕食 
13 支援会議 	14 習い事(フラワーアレンジメント)
14 退勤	
15 夕食作り・掃除	
16 夕食	
17	
18	
19	
20	

#私の休日



夫婦で過ごす穏やかな時間

2年ほど前に結婚し、今は夫と過ごす時間を大切にしています。普段は近所のカフェに行くなど、近場に出かけることが多いのですが、年1回は旅行をしており、今年の夏は奥飛騨に行きました。

また、最近はフラワーアレンジメントに興味を持ち、新たな趣味として挑戦しています。

Vol.5
2025.3



総務部
税務課

未来の美濃加茂をつくる一員になりたい

Q1.市職員を志した理由を教えてください

自分の故郷に直接かわれる仕事

大学4年生の時、就職活動を行って行く中で、「市役所は異動があり、さまざまな業務で人や地域と関われること」や「市の運営をとおして人の生活をつくり、守っていること」を知り、市役所の仕事に興味を持ちました。そして、行政で働くのであれば、自分が育った街に恩返しができたらと思い、美濃加茂市役所への就職を志しました。

Q2.経験した職務・職務で大切にしている事や工夫は？

人とのつながりと信頼

入庁してからは、福祉課で3年間子どもや障害者の医療費助成、地域の見守りに関する業務を担当し、その後は東日本大震災の震災復興のため、1年間宮城県東松島市へ派遣に行きました。派遣先では税務課に配属され、主に固定資産税の業務を担当しながら、震災当時の話や復興に至るまでの行政の取り組みなどを学んできました。

派遣から戻ってからも、税務課の固定資産税係に配属され5年経ちました。主に家屋の担当をしており、新築住宅の固定資産税の評価や窓口で固定資産の相続に関する対応をしています。相続に関する対応では、「今後どうして良いか分からない」と聞かれることが多くあるため、相手の不明点が少

しても無くなるよう寄り添った対応を意識しています。

固定資産税は市財政の根幹となる大切な税ですが、不明な点が多いかと思えます。税は不明な点が多いからこそ、信頼していただくことが大切だと考えており、窓口や電話でお問い合わせいただいた時は、内容を理解していただけるよう丁寧に説明することを心掛けています。

また、業務とは別に有志の職員で構成される若者事業のプロジェクトに5年間携わり、高校生と一緒に街に出て「これをやってみよう！」という彼らの思いを自分も楽しみながら形にしてきました。

福祉課や税務課、被災地への派遣や高校生たちとの関わりを通し、人とのつながりの大切さを学びました。

Q3.今後の展望を聞かせてください

頼りがいのある職員になりたい

これまでの業務を通して、自分自身が美濃加茂市の人や場所の魅力を知ることができ、美濃加茂市のことがもっと好きになりました。今後どのような業務を行う際も、人とのつながりを大切に、「この人に相談して良かった」と信頼していただけるよう励んでいきます。また、自分の業務が美濃加茂市をつくっているという意識を持って業務に取り組みたいと思います。

平日と休日のスケジュール

ON

OFF

8 出勤・メールチェック

9 家屋調査

10 訪問した家の家屋評価

11

12 昼休み(昼食)

13

14 税務署調査

15 市内現地調査

16

17 退勤・帰宅

18 夕食

19 子どもと風呂・ふれあい

20 子どもの寝かしつけ

8 起床・朝食

9

10 家族で公園へピクニック

11

12 公園で昼食

13

14 帰宅

15

16 子どもと電車を見に散歩へ

17 帰宅

18 夕食

19 子どもと風呂・ふれあい

20 子どもの寝かしつけ

#私の休日



家族でキャンプをすることが目標

育児休業を経て、家族で過ごせる時間の貴重さや子育ての大変さを感じました。休日は、家族で外出して過ごすことが多く、色々な場所に遊びに行くことで自分自身も楽しんでいます。子どもと触れ合いながら、今しか見られない姿を目に焼き付けて1日1日を大切に過ごしていきたいです。